

令和6年度・学校評価教職員アンケート結果について

1. 回答数

教職員22名回答がありました。

2. 集計結果の分析方法

A:十分できている（十分している） B:おおむねできている（おおむねしている）
C:あまりできていない（あまりしていない） D:全くできていない（全くしていない）

※指数は、Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として回答者数を乗じて、A、B、C、Dの回答者の合計から平均点を求めたものである。

指数の最大値は4、中央値は2.5である。

ちなみに、おおよそ

A、Bの回答数が80%、C、Dの回答数が20%の時、指数は3.1（ $3.5 \times 0.8 + 1.5 \times 0.2$ ）

A、Bの回答数が90%、C、Dの回答数が10%の時、指数は3.3（ $3.5 \times 0.9 + 1.5 \times 0.1$ ）となる。

3. 分析

評価は、「目指す児童像」「目指す学校像」「目指す教師像」「確かな学力を育む」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」の6つのカテゴリで実施し、質問は35項目としました。集計結果では、A、B、C、Dの回答者の回答を点数化した指数で見ると35項目中24項目が3.1以上、そのうち10項目が3.3以上の評価でした。全体的には概ね良好ですが、「目指す児童像」「確かな学力を育む」の項目については、全体的にAと評価する回答の出現率が、他のカテゴリの項目よりも低くなっておりま。また、「豊かな心の育成」に関しては、C、Dと評価する回答の出現率が非常に高くなっている項目があり、カテゴリ内で評価の差が大きくなっています。「目指す児童像」「確かな学力を育む」、「豊かな心の育成」に関して、今後の改善と対策が必要です。

「目指す児童像」

	質 問 事 項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R6指数	R5指数
1	主体的に考えあいさつができ、友達にやさしくできる子供が育っていますか。	0.0%	76.2%	23.8%	0.0%	2.8	2.9
2	主体的に学び、自分の考えを、自分の言葉で表現できる子供が育っていますか。	0.0%	61.9%	38.1%	0.0%	2.6	2.7
3	主体的に進んで運動し、心身ともに健康な子供が育っていますか。	23.8%	71.4%	4.8%	0.0%	3.2	3.1

「めざす児童像」に関しては、設問1、2が昨年度に比べると若干指数が下がり、両項目ともAの評価に関して0%でした。相手ことを考えた言動や、学習で自分の考えを表現することに関して大きな課題があります。今後は、全校共通して、道徳の授業を通し相手の立場になって考えたり、授業で自分の考えを表現したりする経験を積極的に取り入れていきます。

「目指す学校像」

	質 問 事 項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R6指数	R5指数
4	子供が明るく、生き生きと過ごしていますか。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	3.5	3.3
5	学校は、子供、保護者、地域に信頼されていますか。	9.5%	90.5%	0.0%	0.0%	3.1	3.0
6	子供も教師も喜んで学校に通っていますか。	14.3%	81.0%	4.8%	0.0%	3.1	3.0

「目指す学校像」に関して、全ての項目において肯定的な評価が95%以上でした。引き続き、子供たちが生き生きと過ごせる環境を整え、子供、保護者、地域に信頼される学校を職員一同作ってまいります。

「目指す教師像」

	質 問 事 項	A 十分できている (十分にしている)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R6指数	R5指数
7	丸山小学校の教師であることに誇りを持ち、愛情を持って児童に接することができていますか。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	3.5	3.4
8	子供の疑問やつぶやきを大切に、子供の多様な考えを引き出すことができていますか。	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	3.1	3.1
9	職務に専念し、子供、保護者、地域から信頼されるよう努めていますか。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	3.7	3.4
10	専門職として、研究・修養に積極的に取り組み、絶えず指導力を高めるよう努めていますか。	36.8%	57.9%	5.3%	0.0%	3.3	3.2

「目指す教師像」に関しては、全ての項目において肯定的な評価が90%以上で、特に設問9「職務に専念し、子供、保護者、地域から信頼されるよう努めていますか。」は肯定的な評価が100%で指数も3.7と高い評価でした。引き続き、職員一同、それぞれの職務に責任を持ち、子供、保護者、地域から信頼されるよう努めていきます。設問8「子供の疑問やつぶやきを大切に、子供の多様な考えを引き出すことができていますか。」については、他の項目に比べ低い評価となりました。「確かな学力を育む」にも関わってきますが、子供の疑問やつぶやきから子供たちが主体となって学習を広げていく授業を行えるよう、さらなる教材研究の充実を図っていきます。

「確かな学力を育む」

	質 問 事 項	A 十分できている (十分にしている)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R6指数	R5指数
11	指導目標の明確化と言語活動の充実を図った授業を実践することができていますか。	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	3.0	2.9
12	学び方を学び、主体的に学びに向かうことができるよう工夫した授業を実践していますか。	22.2%	61.1%	16.7%	0.0%	3.1	3.0
13	学力向上のために、子供たちの興味・関心を高め、定着を図る工夫を講じることができていますか。	22.2%	61.1%	16.7%	0.0%	3.1	3.1
14	問題解決的な学習、体験活動、個に応じた支援・指導を通じた授業を実践していますか。	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	3.3	3.1
15	学ぶ意欲を高め、生涯学習への推進を図ることができていますか。	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	3.0	2.9
16	学校司書と連携し、学校図書館を活用した授業を実践していますか。	27.8%	44.4%	22.2%	5.6%	2.9	3.1
17	環境へ目を向け、自然環境を守り体感できる環境学習や環境教育の推進を図ることができていますか。	5.3%	63.2%	21.1%	10.5%	2.6	2.8

「確かな学力を育む」に関して、ほとんどの項目において肯定的な評価が80%以上ですが、全体的にAの評価の出現率が低くなっています。特に設問16「学校司書と連携し、学校図書館を活用した授業を実践していますか。」は指数が2.9と昨年度の指数から0.2ポイント下がり、他の項目と比べても低くなっています。今後、図書の時間を充実するとともに、学習内でも関連する書籍などを紹介するなど、本と親しむ機会を意図的に増やしていく必要があります。また、設問17「環境教育」についても指数が2.6と昨年度の指数から0.2ポイント下がりました。環境教育について年間の教育計画の位置づけを再度見直すと共に、子供たちの主体的な学習を進めていくことによって知識・技能を高めるだけでなく、生涯学習を見据えた学ぶ意欲の向上に努めてまいります。

「豊かな心の育成」

	質 問 事 項	A 十分できている (十分にしている)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R6指数	R5指数
18	道徳の時間を要として、生きる基盤としての道徳性の育成及び教育活動全体を通して、豊かな人間性や社会性を育成するよう努めていますか。	27.8%	61.1%	11.1%	0.0%	3.2	3.4
19	学びを生活に活かしていけるよう、体験活動など道徳の時間の授業を工夫することができていますか。	17.6%	58.8%	23.5%	0.0%	2.9	2.7
20	地域と連携した道徳教育を推進することができていますか。	6.3%	31.3%	37.5%	25.0%	2.2	1.9
21	主体的に考え自律的に判断する力と思いやりのある人間を育成するよう努めていますか。	35.3%	64.7%	0.0%	0.0%	3.4	3.1
22	わんぱく班を中心にした異学年交流の充実を図ることができていますか。	27.8%	55.6%	16.7%	0.0%	3.1	3.1
23	他学年との交流をもとに、社会性を高めることができていますか。	35.3%	41.2%	23.5%	0.0%	3.1	3.1
24	多様性と人権への理解を深め、認め合う共生社会への理解を深めることができていますか。	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	3.0	3.0
25	生徒指導の機能を生かした学習指導に努め、自己決定の場の設定や自己存在感の感じられる授業の展開や学級経営など指導の工夫を図ることができていますか。	16.7%	72.2%	11.1%	0.0%	3.1	3.1
26	いじめの未然防止・早期発見・早期対応について、組織的、計画的に推進することができていますか。	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%	3.2	3.4
27	教育相談・面談の積極的活用やスクールカウンセラー等の連携することで、組織的な支援・指導の充実を図ることができていますか。	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	3.2	3.0
28	校内委員会の機能を生かし、関係機関との連携した特別支援体制を整備することができていますか。	11.8%	70.6%	17.6%	0.0%	2.9	3.1
29	個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用の充実を図ることができていますか。	23.5%	64.7%	11.8%	0.0%	3.1	3.1
30	地域や関係機関との連携を行い、安心して学ぶ環境の整備と家庭と地域の教育力の向上を図ることができていますか。	6.3%	62.5%	31.3%	0.0%	2.8	2.8

「豊かな心の育成」に関しては、項目ごとの指数が2.2～3.4とカテゴリー内で評価の差が大きくなっています。「道徳の時間を要とした豊かな人間性や社会性を育成」「思いやりのある人間の育成」「いじめ防止対策」「教育相談」に関する項目は高い評価になっている反面、「体験活動など道徳の時間の授業を工夫」「地域と連携した道徳教育」「特別支援体制の整備」「安心して学ぶ環境の整備と家庭と地域の教育力の向上」に関する項目は評価が低くなっています。学校全体で「いじめは絶対許さない」という共通認識のもと、いじめの防止に組織的・計画的に進めていきます。「特別支援体制の整備」については、今年度特別支援コーディネーターを中心に支援を要する児童への支援計画を作成していきましたが、今後はさらに子供たち一人一人の実態、特性を丁寧に把握するとともに、支援を要する子への支援を校内体制で取り組めるよう連携を図っていくようにします。道徳教育に関しては、道徳の授業を通して子供たちの豊かな心を育成できている感じているものの、道徳の授業の工夫や地域との連携には課題が見られます。道徳の年間指導計画を見直し、道徳で学んだことをどのように他教科や行事、さらには家庭や地域につなげていけるよう、教材研究に努めています。「家庭と地域の教育力の向上」に関しては、今年度よりはじまりました学校運営協議会と連携して、地域教育力の活用や家庭教育力の向上を図れるよう取り組んでまいります。

「健やかな体の育成」

	質 問 事 項	A 十分できている (十分にしている)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R6指数	R5指数
31	正課時体育において、能力・適性・興味に応じた運動による楽しさや喜びが感じられる授業の展開を図ることができていますか。	37.5%	56.3%	6.3%	0.0%	3.3	3.2
32	健康に過ごすための望ましい生活習慣の育成を進めることができていますか。	35.3%	58.8%	5.9%	0.0%	3.3	3.2
33	安全に過ごすための安全（防犯・交通安全や自然災害への対応）指導を推進することができていますか。	27.8%	72.2%	0.0%	0.0%	3.3	3.3
34	健やかな体づくりを進め、休み時間も活用し体力の向上を図ることができていますか。	41.2%	47.1%	11.8%	0.0%	3.3	3.3
35	アレルギー等に留意し、学校給食を活用した効果的な指導の工夫と食事を楽しむ児童の育成に努めていますか。	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%	3.3	3.5

「健やかな体の育成」に関しては、肯定的な評価が90%近くなっています。ただ、「食育」に関する項目に関しては昨年度と比べ指数が0.2ポイント下がってしまいました。安心。安全な給食を継続していくとともに、給食を通して食育を一層進めていく必要があります。また、子供たちの体力向上についても、今後も体力向上委員会が中心となり、体力向上に向けた指導内容の充実、指導方法の工夫を進めていきます。